

デイ通信

<題字>

沖田信義

令和4年 7月1日発行
デイサービスセンター アウル

「理念」

さて、どこの会社にもあると思いますが、当然当社にも「理念」というものがあります。特に認知症の状態のある方々の尊厳を保持するためには、会社としてしっかりとした考え方のベースを持つことが大事です。

いざ迷った時など、支援の方向性を見失いかけるときもあります。理念とは、そういう状態になりかけた時の羅針盤にもなります。つまり、事業所の基本であり基礎であり哲学でもあります。今回は、あらためて当社の理念をご紹介します。

法人の基本理念

- ・穏やかに楽しい尊厳ある暮らし(生活)を保障します。
- ・その人らしいあたりまえの暮らし(生活)を保障します。

ホームの目的

有限会社グッドライフが開設する事業所が行う事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が、要介護等状態（介護予防にあたっては要支援2）であって認知症の状態にある方に対し、「住み慣れた地域」において「家庭的な環境」の下で、「時間がゆるやかに」流れ「専門的スタッフ」に「さりげなく見守られ」認知症の状態にある方一人ひとりが、自分らしく生活の再構築をしていく住まい(家)若しくはケア（支援）を提供（約束）することを目的とする。

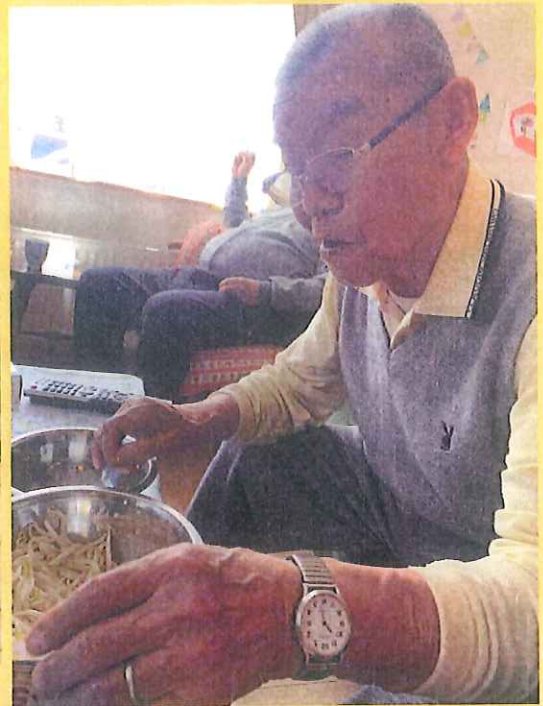
ホームの運営方針

- ・小規模(グループ)の持つ特性を生かし、個別に充実したケアを可能とするケア形態であること。
- ・現実の日常生活の中で、個別の役割がリハビリとして位置付けられること。
- ・個別性を生かしたケアにより、質が高く、より家庭的な生活環境であること。
- ・自然体の中でより専門的に適切なサービスを提供すること。
- ・認知症の状態にある方が抱くとされる不安、心配、混乱、ストレスを軽減すること。
- ・健康な能力を讀解し、適度な刺激があること。
- ・互いに、主体的(自己決定と自己責任)な関係であること。
- ・家族との連絡調整等を密にし、良好な関係を築くこと。
- ・契約書の記載事項、重要事項説明書を遵守すること。

このように、当社の理念の実現をホームの目的と運営方針で具体的に実践して参ります。

ア ウ ル 宮 崎 直 人

家事支援



1人1人できる事を見極めながら
支援を行っております。コロナも徐々に
減少しておりますので、感染対策をしっかりと
行いながら、昼食の買い物支援として
参りたいと思います。